

J R 東日本労働組合

N A G A N O

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



2017年 3月 4日 No. 194

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：篠原和幸

編集：情宣部

2017春闘 要求満額獲得!

第1回団体交渉が開催される!

3月1日、本部一本社間において「申第5号 2017年度賃金改定に関する申し入れ」の第1回目の団体交渉が行われました。1回目の交渉では、組合側の要求の趣旨説明と経営側の現状認識についてお互いに示しました。交渉の詳細は[本部情報「2017春闘NEWS」のNo.9とNo.10](#)を参照して下さい。

私たちの要求の趣旨説明で触れられていますが、会社発足から30年という節目の年を迎えることができたのは、30年前の国鉄改革を担った多くの先輩たちの苦勞と、その後を引き継いだ全てのJR労働者の努力によるものです。そして、私たちJR労働者が日々「安全・安定輸送」を担い、お客さまからの信頼を得ているからこそ、「2016年度第3四半期決算」の好業績という結果を得ることができているのです。

一方で経営側の現状認識を見るとネガティブな要因を数多く挙げ、好業績を隠すかのような認識を示しています。為替相場が円高基調、海外政治と経済の不透明感、営業利益が4.8%減、安全対策などの修繕費が232億円増加、少子高齢化・生産年齢人口の減少などマイナス要因ばかりをクローズアップしています。

私たち組合側と経営側の認識には大きな隔たりがありますが、私たちの要求に応えるだけの経営体力はJR東日本に充分にあります。今後も交渉が続きますが、交渉の支えとなるのが職場からの運動です。組合員一人ひとりが主役となり、運動を創りだしていきましょう。

第2回 団体交渉

3月10日(金) 13時00分~